

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年8月3日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

### 発表事項

1. 平成29年度YU-COE 先端フードテクノロジー研究開発拠点  
「YU-アルファ化米粉」を山形から世界へ展開
2. 陽子スピンの謎に挑む世界初の実験の結果を発表
3. 第10回高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました
4. 山形出身の算聖(天才数学者)会田安明の没後200年記念特別展を開催します

### お知らせ

1. アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始
2. 「防災と技術」テーマに国際交流実践講座“蔵王でミニワールド体験”を実施
3. オペラ指揮者の阪哲朗氏による学生の公開レッスンをを行います
4. 山形大学・福島大学 合同展覧会「ROUTE13展」を開催します
5. 人文社会科学部公開講座のご案内
6. 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展  
「山形の記憶2 山形大学附属博物館所蔵絵葉書展」を開催しています
7. 第2回ドライフーズレシピコンテスト2017を開催します
8. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成29年9月7日(木) 11:00～11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

## 学長定例記者会見(8月3日)発表者

1. 平成29年度 YU-COE 先端フードテクノロジー研究開発拠点  
「YU-アルファ化米粉」を山形から世界へ展開

学術研究院 教授(有機材料システム)

にしおか あきひろ  
西岡 昭博

2. 陽子スピンの謎に挑む世界初の実験の結果を発表

学術研究院 教授(素粒子・原子核物理学)

いわた たかひろ  
岩田 高広

3. 第10回高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました

学術研究院 教授(国語教育)

ふじた ようじ  
藤田 洋治

4. 山形出身の算聖(天才数学者)会田安明の没後200年記念特別展を開催します

小白川図書館長

学術研究院 准教授(附属博物館学芸研究員)

うめばやし とよはる  
梅林 豊治  
さとう こと  
佐藤 琴

平成29年8月3日  
山形大学

## 平成29年度YU-COE 先端フードテクノロジー研究開発拠点 「YU-アルファ化米粉」を山形から世界へ展開

本拠点の独自技術により開発した「YU-アルファ化米粉」は、従来よりも簡単、瞬時に製造でき、炊飯を必要とせず、加水しただけで食べられる機能性米粉です。近年、世界的に小麦アレルギーが社会問題となっており、米は小麦の代替として注目されています。YU-アルファ化米粉は、非常時の備蓄食、アレルギー対応食品など様々な応用用途への展開の可能性があります。本拠点では、YU-アルファ化米粉を山形から日本、さらには山形から世界へ展開するための活動を活発に行っています。

### ○YU-アルファ化米粉とは？

アルファ化米粉とは、水を加えるだけでお粥状になりそのまま食べることができる米粉のことです。山形大学では加熱した臼で粉砕するだけで瞬時にアルファ化米粉を製造できる画期的な製造法を開発しました。YU-アルファ化米粉はこの手法で製造された米粉のことです。山形大学が有するプラスチックの成形加工技術の組み合わせにより、小麦粉を用いないパン、シュークリーム、ソフトクリームなどを産学連携のもとで開発に成功し市販化してきました。本拠点では、様々な可能性を持つ「YU-アルファ化米粉」を国内だけではなく世界にも広く普及させるための様々な取り組みを始めています。小麦アレルギーの方の生活改善、新たな食感を持つ食品開発、さらには日本国内の米の消費拡大にも貢献する可能性を秘めています。今後、アジアで普及しているインディカ米を原料にしたアルファ化米粉を開発することで、国外普及を促進し、世界的な事業展開を進めようとしています。

### ○世界展開へ向けた取り組み

#### 【タイ王国Prince of Songkla大学との大学間交流協定を締結】

本拠点の国際展開のため、本年4月にタイ王国のPrince of Songkla大学（PSUと略）と大学間交流協定を締結しました。早速短期交換留学プログラムが実施され、本学から2名の大学院生が短期留学を経験しました。さらに食品科学関連の研究者との交流も始まっており、タイの様々な米やYU-アルファ化米粉を用いた食品の共同開発も始まっています。本活動からYU-アルファ化米粉の世界展開を模索し、海外企業と連携した商品開発も視野に入れ活動しています。

#### 【国際シンポジウムを開催（本年11月30日（木））】

本年11月30日（木）に米沢キャンパスにて国際シンポジウムを開催予定です。国内およびPrince of Songkla大学から3名の研究者を招聘し、最先端の食品技術について講演いただきます。

### ○YU-アルファ化米粉の普及に向けた取り組み

#### 【YU-アルファ化米粉を使ったお料理教室を開催（本年8月19日（土））】

本年8月19日（土）14:00～16:15に米沢栄養大学にて「アルファ化米粉お料理教室」を開催します。高校生以上の一般の方に米粉パンづくりを通してYU-アルファ化米粉の魅力を発信します。

#### 【YU-アルファ化米粉のレシピコンテストを開催（本年12月2日（土））】

本年12月2日（土）には米沢栄養大学にて「第3回アルファ化米粉レシピコンテスト」を開催します。当日は、Prince of Songkla大学の新進気鋭の研究者3名をゲスト審査員として招聘する予定です。近い将来、海外での開催も視野に活動していきます。

#### （お問合せ先）

学術研究院・教授・西岡昭博（有機材料システム）

電話：0238-26-3207

学長記者会見資料

平成28年度採択 YU-COE (C)

山形大学先進的研究拠点

【先端フードテクノロジー研究開発拠点】

「YU-アルファ化米粉」を山形から世界へ展開

拠点代表者：西岡 昭博

(学術研究院・教授・有機材料システム)

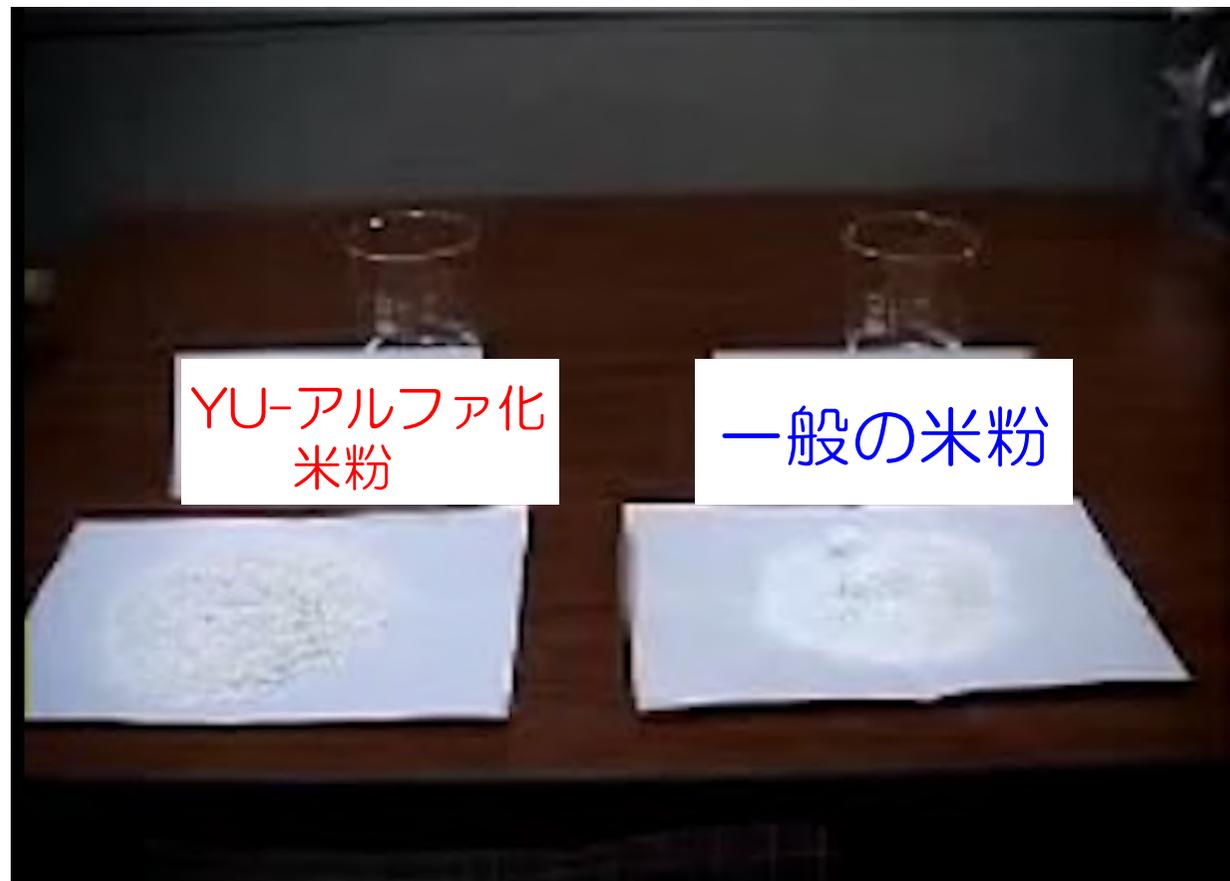


ADVANCED FOOD TECHNOLOGY RESEARCH CENTER

## 本拠点の独自技術

### ○「YU-アルファ化米粉」とは？

冷水を入れるだけでお粥になります！



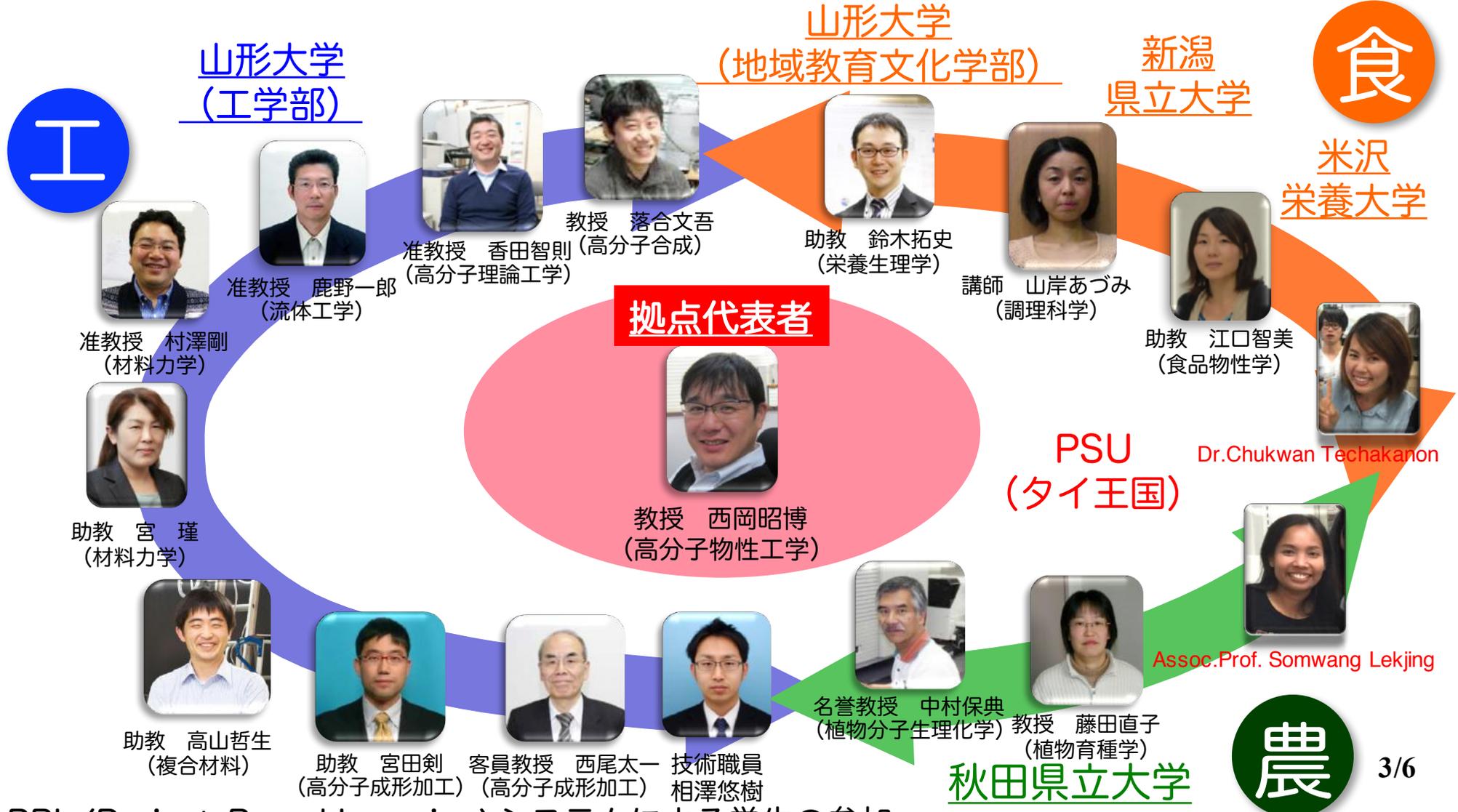
炊飯をしなくても食べられる不思議な米粉です。

# 平成28年度新規採択YU-COE (C) 事業



「山形大学 先端フードテクノロジー研究開発拠点 (AFTEC)」  
( Advanced Food TEchnology research Center in Yamagata University)

工・食・農の連携を実現する豊かな拠点メンバー



PBL (Project-Based Learning) システムによる学生の参加

# ○世界展開に向けた取り組み

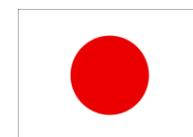
大学間学術交流協定の締結（2017年4月）

タイ王国 Prince of Songkla大学（PSU）



2016年11月Prince of Songkla大学を訪問

## 大学間の学生の短期交換留学プログラム



## ○世界展開に向けた取り組み

# Prince of Songkla大学と機能性食品を共同開発へ 「YU-アルファ化米粉」を世界へ展開

YU-アルファ化米粉を用いた新たな機能性食品のレシピを共同開発しています。本活動からYU-アルファ化米粉を世界へ展開する方法を探っています。将来は海外の企業と連携した商品化も視野に入れています。



YU-アルファ化米粉を用いた  
ライスケーキ

Prince of Songkla大学  
で試作されたYU-アル  
ファ化米粉を用いた共同  
開発食品



YU-アルファ化米粉を用いた  
ライスクラッカー

# ○YU-アルファ化米粉の普及に向けた取り組み アルファ化米粉お料理教室を開催

**あなたも米粉料理で大発明!**

## アルファ化米粉お料理教室

山形大学の西岡研究室では「アルファ化米粉」の研究を行っています。アルファ化米粉は、水を加えるだけでお粥になる不思議な米粉です。アルファ化米粉を使えば、小麦粉不使用のパンやおやき、卵不使用のマヨネーズなどを簡単に作ることができます!そこで...!!このアルファ化米粉についてより多くの方々に知っていただくために、**アルファ化米粉お料理教室**を以下の日程で開催いたします。

**日時** 平成29年8月19日(土) 14:00~16:15

**場所** 山形県立米沢栄養大学 調理実習室

**内容** 米粉パン作り

**持ち物** 筆記用具、エフロン、三角巾

参加費 無料

参加資格 高校生以上

※注意 当日は靴下着用をお願いします(裸足厳禁)。

**参加申込方法**

参加希望の方は下記の窓口まで「氏名」「年齢」「所属」「連絡先」を明記の上、メールにてご連絡ください。そのほか質問、相談などもお気軽にどうぞ!  
※定員40名になり次第締め切りますので、お早めに!!

**窓口** E-mail) a-rice@cisweb.yz.yamagata-u.ac.jp  
担当) 滝口 晶木(山形大学大学院 西岡研究室 博士前期課程1年)

**お知らせ**

山形大学では過去2回にわたりアルファ化米粉レシピコンテストを行ってきました。(おやきとマヨネーズの写真は、昨年度の応募レシピです。)

そして今年も、平成29年12月2日(土)に第3回目の開催が決定しました!  
コンテストの詳細は、ホームページ(下記URL またはQRコードから)やチラシでお知らせいたします。 <http://cisweb.yz.yamagata-u.ac.jp/~alpha/> または 

主催: AFTEC(先端フードテクノロジー研究開発拠点)、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センター、山形県立米沢栄養大学、株式会社はつらつ、米沢信用金庫  
後援: 山形県、山形県教育委員会、米沢市  
協賛: 株式会社セイシン企業、株式会社セゾンファクトリー、株式会社ベーカリー-中村屋、ほんち株式会社 (50音順)   

開催日：平成29年8月19日（土）  
会場：山形県立米沢栄養大学

米沢栄養大学にて、アルファ化米粉お料理教室を開催します。高校生以上の一般の皆様にもアルファ化米粉に触れていただきます。山形県の皆様へアルファ化米粉について詳しく知っていただく場を提供します。

詳細は下記のURLへ

<http://cisweb.yz.yamagata-u.ac.jp/~alpha/>

平成29年8月3日  
山形大学

## 陽子スピンの謎に挑む世界初の実験の結果を発表

山形大学のグループが参加するCOMPASS国際共同研究<sup>(※1)</sup>グループは、陽子スピン（自転）の謎を解明するため、CERN（欧州原子核研究機構）<sup>(※2)</sup>において大型偏極陽子ターゲット装置<sup>(※3)</sup>を用いたドレルヤン反応<sup>(※4)</sup>とよばれる反応をとらえる世界初の実験を2015年5月から11月にかけて実施した。これまで、ミュオン粒子<sup>(※5)</sup>反応で陽子内部においてクォークの軌道回転運動（公転にあたる）の存在を示唆するデータが得られていたが、理論との整合性や他の反応との関連を調べるのが求められていた。今回のこの実験データの解析により、クォークの軌道回転の存在を許す理論に矛盾しない結果が得られ、陽子スピンの起源の候補の1つである軌道回転の存在の可能性が高まった。

### ◆背景

原子核を構成する陽子はクォークと呼ばれる基本粒子が結合してできている。陽子のスピン（自転にあたる量）はクォークのスピン（自転）に起因すると考えられてきたが、最近の研究ではクォークスピンの役割が少ない（3割程度の寄与）ことが判明している。しかし、残りが何によるか、解明されていない。この謎の解明を目指し、山形大学のグループはCERNのCOMPASS国際共同研究プロジェクトに加わり、大型偏極陽子ターゲット装置の改造など、実験に貢献しながら、研究を行ってきた。2014年5月から準備を始め、2014年12月に予備的な測定、2015年5月から11月まで本格測定を行った。

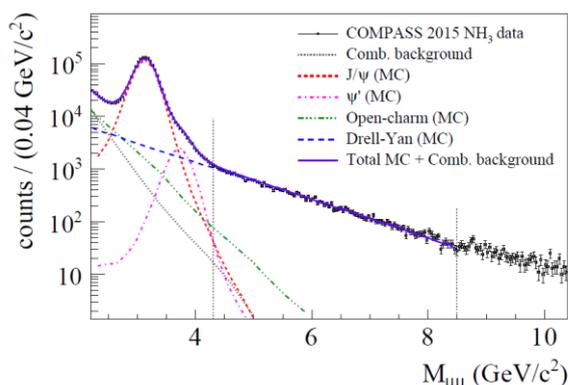
### ◆研究結果の概要

COMPASSではこれまでに高エネルギーのミュオン粒子（160 ギガ電子ボルト）を、陽子スピンの方向をそらえた偏極ターゲットに衝突させ、 $\pi$ 中間子<sup>(※6)</sup>生成のスピン依存性を調べた。その結果、陽子内部でクォークの軌道回転運動（公転）の存在を示唆するデータを得ていた。これが正しいならば、従来のクォークモデルの常識を翻す知見となる。それを確定するためには、異なる反応でも理論との整合性を確認する必要があった。このために $\pi$ 中間子（190 ギガ電子ボルトの $\pi^-$ ）を入射し、ミュオン粒子対が発生するドレルヤン反応をとらえ、スピン依存性を調べた。偏極ターゲットを用いたドレルヤン反応での測定はこれまでに例がなく、世界で初めての試みであった。理論上、上記の $\pi$ 中間子生成反応とドレルヤン反応は関連しており、測定値（非対称度）にはある関係（非対称度が逆符合）が成立する。これを確認できれば、軌道回転運動の証拠となる。そして、今回の実験結果は、軌道回転の存在を許容するいくつかの理論的な予言と矛盾するものではなかった。これによって軌道回転の存在を補強するものとなった。この研究結果は物理学分野でのトップジャーナルであるPhysical Review Letters誌に掲載されることが決定している。

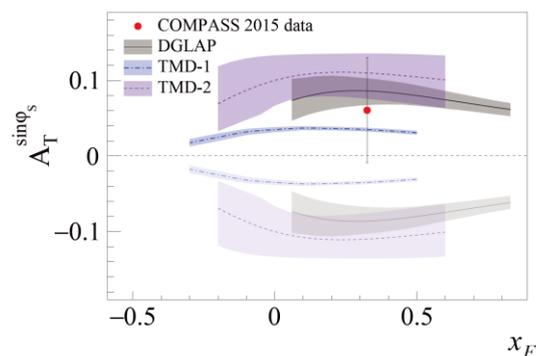
### ◆今後の研究の展開

本実験の結果を再確認し、さらに精度を向上するために2018年に同様の測定を行う。これによって理論との整合性をより精密に確認できると期待される。

（お問合せ先）  
学術研究院（素粒子・原子核物理学）  
教授 岩田 高広  
電話023-628-4762  
准教授 宮地義之  
電話023-628-4551



ミュー粒子対 ( $\mu^+$ と $\mu^-$ ) の質量分布。今回分析を行ったのは4.3から8.5 $\text{GeV}/c^2$ の領域(グラフ中で黒い点線で囲まれた質量領域)で、この領域ではドレルヤン反応が支配的だと考えられる。この場合、標的陽子中のクォークとビーム $\pi$ 中間子中の反クォークが消滅した後、一旦光子になり、最終的に $\mu$ 粒子対になる現象を捉えている。ミュー粒子対が飛び出す方向などの振る舞いを調べることで、陽子中のクォークの運動を推測することができる。なお、3 $\text{GeV}/c^2$ 付近の山はやはり標的陽子中のクォークとビーム $\pi$ 中間子中の反クォークが消滅して生成される $J/\psi$ (ジェー・プサイ粒子)と呼ばれる既知の粒子が $\mu$ 粒子に崩壊した現象を表わしている。



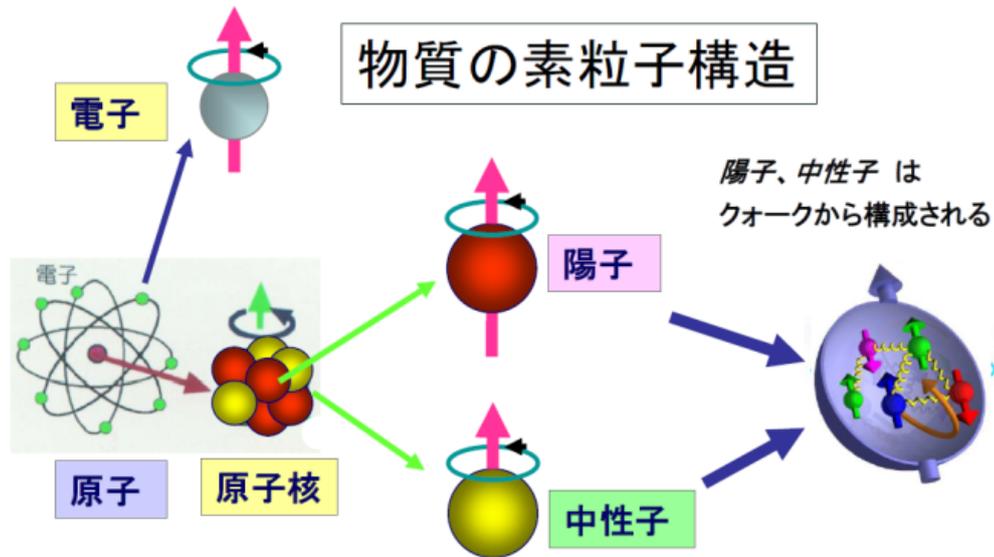
ドレルヤン反応での非対称度測定値(赤い丸)。曲線はクォークの軌道回転の存在を許容した場合の理論的な予想で、帯状の表示はその不定性を示している。理論的な取り扱いの違いによって異なる理論曲線が提案されている(DGLAP, TMD-1, TMD-2)。クォークの軌道回転が存在し、理論的整合性も保障される場合には正の非対称度が予想される。測定値は誤差の範囲内でこれらの予想と矛盾していない。今回のようにゼロでない測定値は陽子スピンの方向(自転軸)とミュー粒子対の生成方向が関連していることを示しており、結局、陽子中のクォークの運動が陽子スピンに関連することを意味している。このような場合、クォークが陽子のスピン軸の周りに軌道回転していると考えられる。一方、負の値を示す薄い曲線は正の非対称度の符合を反転した理論曲線を示すが、測定値との一致は良くない。

### 【※用語解説】

1. **COMPASS国際共同研究プロジェクト**：欧州、米国、アジアなど世界13カ国から200名以上の研究者が参加する国際共同研究。日本からは山形大学を代表研究機関として、宮崎大学、中部大学、高エネルギー加速器研究機構の研究者が参加している。なお、山形大学からは理学部担当の岩田高広教授、宮地義之准教授らのグループが参加している。
2. **CERN(欧州原子核研究機構)**：スイスのジュネーブにある素粒子、原子核の研究所。世界最大級の粒子加速器を用いて先端的な研究が行われている。山形大学はCERNとの研究協力協定に基づき、助教2名、大学院生(博士後期課程)1名をCERNに長期派遣している。
3. **偏極ターゲット装置**：原子核のスピンの方向をそろえた特殊なターゲット装置。陽子偏極ターゲットの場合、水素を含む物質(例えばアンモニア)中の水素核(陽子)のスピンをそろえている。COMPASSの偏極ターゲット装置は世界最大級の大きさを誇っている。
4. **ドレルヤン反応**：陽子や中間子の衝突によって主に正電荷と負電荷のミュー粒子(あるいは電子、陽電子)が対になって生成される素粒子反応。陽子内のクォークやその反粒子<sup>(※7)</sup>である反クォークが消滅して、ミュー粒子対が作られる。陽子や中間子内部でのクォークや反クォークの状態を観測するのに適した反応と考えられている。
5. **ミュー粒子**：素粒子の標準模型で電子のグループに属する素粒子の一種。電子よりも重い、同様の性質を示す。

6.  $\pi$  中間子：日本の湯川秀樹博士が中間子論において予言し、それが後に発見されたことでノーベル賞を受賞した、いわゆる湯川中間子のこと。クォークモデルではクォークと反クォークの結合状態だと理解されている。

7. 反粒子：一般的に素粒子にはその素粒子と質量などが全く等しいが、電荷が逆符号を持つ素粒子が存在し、それを反粒子と呼ぶ。同じ種類の素粒子とその反粒子が出会うと消滅し、別の素粒子が生成されることがある。



原子は電子と原子核でできており、原子核は陽子と中性子から成り立っている。陽子や中性子は複数のクォークが結合してできている。陽子などのスピンはクォークのスピンの寄与と考えられてきたが、クォークの軌道回転（公転）も寄与している可能性が指摘されている。

平成29年8月3日  
山形大学

## 第10回山形大学高校生朗読コンクール本選出場者の決定について

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の事業として、9月10日（日）に開催する、第10回山形大学高校生朗読コンクールの予選審査が終了し、本選出場者が決定しました。

### ◆概要

このプロジェクトは、平成20年度に始めた「山形大学高校生朗読コンクール」と同時に、群読劇を上演するという内容で、平成24年度から開催しています。東北の未来を考えるために、東北の人びとが中心となって東北の地で表現するという催しです。

日時： 9月10日（日） 13時30分～17時

第一部：山形大学高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「泣いた赤おに・りゅうの目のなみだ」

場所：遊学館ホール（山形県生涯学習センター）（〒990-0041 山形市緑町1-2-36）

### ◆朗読コンクール

- ・東北6県の高校生84名（17校）からの応募があり、山形大学教員からなる予選審査委員会の選考により本選出場者12名が決定しました。
- ・予選を通過した12名が、山形県高畠町出身の浜田廣介の『浜田廣介童話集』（ハルキ文庫）に収録されている「よぶこどり」「五ひきのやもり」から、それぞれ異なる部分を朗読します。
- ・本選では、上位3名を山形大学学長賞として表彰します。

#### <本選出場者：朗読順>

1. 秋田県立金足農業高等学校	佐々木 小桃
2. 青森明の星高等学校	佐々木 香菜絵
3. 青森明の星高等学校	菊山 綾乃
4. 秋田県立由利高等学校	渡会 紗希
5. 山形寒河江高等学校	高橋 美咲
6. 青森明の星高等学校	菅原 菜々美
7. 青森明の星高等学校	伊藤 史恩
8. 秋田県立由利高等学校	村上 陽菜
9. 宮城県仙台南高等学校	横田 芽生
10. 宮城県仙台向山高等学校	及川 馨大
11. 聖ウルスラ学院英智高等学校	三浦 あかり
12. 青森明の星高等学校	工藤 優野花

#### （お問合せ先）

エンロールメント・マネジメント部社会連携課  
電話：023-628-4016

# 泣いた赤おに



山形大学特別プロジェクト

第一部・高校生朗読コンクール

浜田廣介作品より

第二部・群読劇 泣いた赤おに

りゆうの目のなみだ

【日時】

平成29年9月10日(日)

開場13:00 開演13:30

(終演予定17:00)

【会場】

山形県生涯学習センター

遊学館2階ホール

主催 国立大学法人 山形大学

【入場料】

一般1,000円

(当日受付にてお支払いください。)

学生・高校生以下無料全席自由

【入場申込先・申込方法】

下記にFAXまたは電子メールで  
お申し込みください。

FAX: 023-628-4144

メール: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【お問い合わせ】

電話: 023-628-4016

後援 公益財団法人 浜田広介記念館  
山形県教育委員会

【内容】

・第一部・

第10回山形大学高校生朗読コンクール

・第二部・

群読劇 「泣いた赤おに」

「りゅうの目のなみだ」

・第三部・

審査結果発表・表彰式

【演出】佐藤正文（さとう・まさふみ）

演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術情報学科客員教授、日本大学芸術学部非常勤講師。桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プロデュース、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年米国コロンビア大学の安部公房シンポジウムで演技術・安部公房システムを紹介。平成26年度山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師を務める。大手芸能プロダクションで演技レッスンを担当、多数の俳優を育成する。



申込方法：下記必要事項を記し、郵送またはFAX、電子メールでお申し込みください。

必要事項：代表者氏名（ふりがな）、代表者住所、電話番号、FAX(任意)、メールアドレス(任意)、同行者氏名(本人含め5名まで)、

同行者内訳(一般名、学生・高校生以下名)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

山形大学 EM 部社会連携課

(FAX) 023-628-4144

(メール) embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【朗読コンクール・群読劇について】

山形大学高校生朗読コンクールは東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘します。予選を通過した高校生たちが、山形県高畠町出身の童話作家、浜田廣介の作品を朗読します。また、群読劇でも浜田廣介の代表作「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」を取り上げ、演出に酒田市出身の佐藤正文さんを、出演に磯部勉さんをお迎えし、山形子どもたち、一般市民の皆さま、山形大学学生とともに舞台を作り上げます。

「いま、言葉を東北の灯に」

山形大学特別プロジェクト

・主催・

国立大学法人

山形大学

・後援・

公益財団法人

浜田広介記念館・

山形県教育委員会



【出演】磯部勉(いそべ・つとむ)

桐朋学園大学短期大学部を卒業後、劇団俳優座に入団。シェイクスピア作品を中心に多くの舞台に出演。俳優座以外にも清水邦夫氏の木冬社や蜷川幸雄氏などの作品に参加。中村貞夫監督の映画『さらば、わが友 実録大物死刑囚たち』(1980年公開)で主人公の死刑囚役を演じる。また、『軍師官兵衛』をはじめNHK大河ドラマに多数出演。外国映画の吹替ではハリソン・フォードやメル・ギブソン、ジョージ・クルーニーなどを担当。アニメの吹替え、ナレーションなども多数。

平成29年8月3日  
山形大学

## 山形出身の算聖(天才数学者)会田安明の没後200年記念特別展を開催します

山形出身の天才数学者・会田安明の没後200年を記念し、会田安明遺愛の品々(机、硯、算盤)とともに山形大学小白川図書館が所蔵する和算(近代以前に日本独自の発展を遂げた数学)に関する貴重な資料を展示して、その業績を紹介します。

### ■「オープンキャンパス特別展 没後200年記念 山形の算聖 会田安明の軌跡」

会 期：2017年8月11日(金・祝)～9月29日(金)

休 館 日：土日祝、8月14～16日

(8月11日(金・祝)、26日(土)、27日(日)は開館します)

開館時間：8:45～17:00

(8月26日(土)は9時～12時 27日(日)は13時～17時)

そ の 他：入場無料

主 催：山形大学小白川図書館・山形大学数学教育研究センター  
山形大学附属博物館

### ■会田安明と小白川図書館が所蔵する和算資料について

会田安明(1747-1817)は出羽国最上(山形県)に生まれ、江戸で活躍した和算家です。当時の和算は関孝和を開祖とする関流が主流派でしたが、行き違いから入門が果たせず、1781年頃から20年余にわたる関派との論争を行いました。また、この間に新たな和算の流派「最上流」を旗揚げするとともに、優れた弟子を多く育てて東北地方の和算の発展に大きく貢献しました。

小白川図書館は、和算書として「佐久間文庫」、「柳原文庫」、「鈴木文庫」に計2000冊ほどを所蔵していましたが、ほとんど写本でした(佐久間文庫は昭和42年に孫弟子佐久間續の所蔵資料が寄贈されたものです)。平成25年に志鎌家からご先祖志鎌小平治安重の収集した146点の和算資料が本学に寄贈されました。会田安明直筆の和算書も多数含まれている大変貴重な資料ですが、これを博物館所蔵の実物資料とともに、この特別展で一般公開いたします。

なお、8月26日と27日には全国和算研究会、9月には日本数学会が山形で開催されます。

(お問合せ先)  
山形大学小白川図書館  
電 話 023-628-4914  
メー ル jsagaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

没後  
200年  
記念

山形の算聖  
会田安明の軌跡

《会田安明肖像（写真）》（部分）山形大学附属博物館蔵

2017年

8月11日(金・祝)～9月29日(金)

休館日：土曜、日曜、祝日（8/11（金・祝）、26（土）、27日（日）は開館します）

開館時間：8:45～17:00（8/26（土）は9:00～12:00 8/27（日）は13:00～17:00）

会場：山形大学小白川図書館1階

ベコちゃんバス東くるりん「山大前」下車徒歩3分（詳細は「ベコちゃんバス 東くるりん」で検索してください）

山形大学専用駅循環シャトルバス（片道100円）が運行しています。詳しくは山形大学HPをご覧ください

入場無料

山形の生んだ和算家で最上流始祖・会田算左衛門安明の没後200年に合わせ、特別展を開催します。小白川図書館所蔵の「志鎌文庫」をはじめとした和算書コレクションのほか博物館所蔵の実物資料も展示します。

お問い合わせ 山形大学小白川図書館 会田 TEL 023-628-4914 Mail jsagaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
山形大学理学部 脇 TEL 023-628-4637 Mail waki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp  
山形大学附属博物館 佐藤 TEL 023-628-4930 Mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年8月3日  
山形大学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始

アフリカ9ヵ国20名の研修生が本学農学部において『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を開始します。日本有数の米どころ庄内で、刈取り実習、圃場、乾燥施設、農業機械工場の見学など、稲作に関する幅広い技術を約6週間学びます。

期 間：平成29年8月21日（月）～9月29日（金）

## 2. 「防災と技術」テーマに国際交流実践講座“蔵王でミニワールド体験”を実施

山形大学が海外拠点を設置している大学から、外国人学生を招聘し、山形大学の学生と蔵王山寮で寝食を共にすることで、相互の異文化理解、国際感覚やグローバル意識の向上を図るプログラムです。山形大学の学生12人、外国人学生（中国・ベトナム・インドネシア・ラトビア・ケニア・ペルーの6ヶ国から来日）12人の合計24人が参加します。

期 間：平成29年8月22（火）～8月31日（木）

場 所：蔵王山寮ほか

## 3. オペラ指揮者の阪哲朗氏による学生の公開レッスンを行います

山形交響楽団と本学の連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会の招聘音楽家を本学に招き、公開講座を行います。第二回目は、オペラ指揮者として活躍する阪哲朗氏による、地域教育文化学部音楽芸術コースおよび文化創生コースの学生への公開レッスンを行います。

日 時：平成29年9月1日（金） 18：30開演

場 所：山形大学文化ホール（小白川キャンパス）

## 4. 山形大学・福島大学 合同展覧会「ROUTE13展」を開催します

地域教育文化学部の造形芸術コース・文化創生コースの学生が福島大学との合同美術作品展覧会「ROUTE13展」を開催します。

期 間：平成29年9月7日（木）～9月10日（日）

場 所：福島県文化センター 3階 展示室

## 5. 人文社会科学部公開講座のご案内

人文社会科学部では、「自由貿易」という広いテーマを、法学、経済学、経営学の視点からアプローチする公開講座を5回にわたり開講します。

日 時：平成29年9月21日（木）～10月19日（木）まで毎週木曜日

18：30～20：10

場 所：山形大学人文社会科学部1号館2階205講義室

募集期間：平成29年8月21日（月）～9月15日（金）

## 6. 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

### 「山形の記憶2 山形大学附属博物館所蔵絵葉書展」を開催しています

本展では、附属博物館が長年収集してきた戦前から昭和初期の山形県内を題材にした様々な絵葉書約80点を展示しています。企画・展示は、学内で学芸員資格取得を目指す学生たちが行いました。

期 間：平成29年7月22日（土）～9月10日（日）

場 所：最上義光歴史館

入館料：無料

## 7. 第2回ドライフーズレシピコンテスト2017を開催します

山形大学の“常温乾燥技術”を用いて乾燥したものを食材としたレシピコンテストを開催します。第2回目は、米沢の特産品「館山りんご」を使ったスイーツのレシピを募集します。

募 集 期 間：平成29年7月10日（月）～10月9日（月）

コンテスト：平成29年11月25日（土） ※書類審査通過者のみ

## 8. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

今回は、「月山に学び、地域を知るⅢ」をテーマとした月山マイスター5名による解説です。

日 時：平成29年8月30日(水)、9月5日(火)、13日(水)、20日(水)、27日(水)

18：30～19：30

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

### ◎アカデミックキャンプ2017

[https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170614\\_01/](https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170614_01/)

◆工学部 :平成29年8月3日(木)～4日(金)

◆理学部 :平成29年8月5日(土)～6日(日)

◆人文社会科学部 :平成29年8月8日(火)～9日(水)

※地域教育文化学部は10月に実施



### ◎ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI (小中学生向け)

[https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170628\\_01/](https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/guide/20170628_01/)

◆見て・聞いて・測って納得！放射線 :平成29年8月5日(土)

◆のぞいてみよう、生き物のいとなみ :平成29年8月6日(日)

◆3Dプリンタで探る音のヒミツ (※) :平成29年8月5日(土)

※工学部長記者懇談会でご案内したものです。



平成29年8月3日  
山形大学

## アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始

8月21日（月）より、アフリカ9ヵ国20名の研修生が本学農学部において『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を開始します。

日本有数の米どころ庄内で、刈取り実習、圃場、乾燥施設、農業機械工場の見学など、稲作に関する幅広い技術を約6週間学びます。秋田県の協力を得て八郎潟の大規模稲作も視察します。

★研修期間：平成29年8月21日（月）～9月29日（金）

★参加国：ウガンダ、エチオピア、カメルーン、ガーナ、コンゴ民主共和国、シエラレオネ、タンザニア、ナイジェリア、リベリア

★使用言語：英語・フランス語

★コーディネーター：角田 憲一 准教授（土壌・肥料学）  
片平 光彦 准教授（生産機械システム工学）  
佐々木 由佳 准教授（栽培土壌学）  
角田 毅 教授（農業経営学）

### ◆研修の背景

アフリカ開発会議（TICAD）において、サハラ砂漠以南の諸国のコメ生産量を平成20年度から10年間で倍増させる目標が立てられました。このような背景のもとで、本学農学部と独立行政法人国際協力機構（JICA）は、平成20年よりアフリカ諸国を対象にした米生産に関わるさまざまな研修を実施してきました。現在は、水稻収穫後処理技術の研修をJICAと協力して実施しています。本学農学部で学んだ研修生は、すでに各国の稲作最前線で活躍していますが、今後さらにアフリカ諸国の稲作技術の改善と普及に貢献したいと考えています。

（お問合せ先）

山形大学農学部企画広報室

電話 0235-28-2910

## J I C A 英 語 圏

月日	曜	午 前 (9:00~12:00)		午 後 (13:30~16:30)	
		内 容	場 所	内 容	場 所
8月14日	月	プログラムオリエンテーション			
8月15日	火	Project Cycle Management (1)	JICA研修所	Project Cycle Management (2) ※13:00~17:00	JICA研修所
8月16日	水	Project Cycle Management (3)	JICA研修所	Project Cycle Management (4) ※13:00~17:00	JICA研修所
8月17日	木	日本の農業における普及活動と農業協同組合の営農指導	JICA研修所		
8月18日	金	「日本社会と文化」「経済」「政治・行政」	JICA研修所	「日本社会と文化」「経済」「政治・行政」	JICA研修所
8月19日	土				
8月20日	日				
8月21日	月	学部挨拶・大学案内・自己紹介・研修の趣旨説明・スケジュール説明・歓迎会	農学部1号館2階会議室	鶴岡市長表敬訪問 ※15:00	鶴岡市役所
8月22日	火	各国のポストハーベストの問題点の紹介 (1)	5階リフレッシュルーム	各国のポストハーベストの問題点の紹介 (2)	5階リフレッシュルーム
8月23日	水	問題点に関する討議(プレアクションプラン) (1)	5階リフレッシュルーム	問題点に関する討議(プレアクションプラン) (2)	5階リフレッシュルーム
8月24日	木	圃場を中心とした稲作作業	5階リフレッシュルーム	稲作のポストハーベスト(1)	5階リフレッシュルーム
8月25日	金	圃場試験計画(1)	102教室	稲作のポストハーベスト(2)	5階リフレッシュルーム
8月26日	土				
8月27日	日				
8月28日	月	大規模稲作見学(秋田県八郎潟)		大規模稲作見学(秋田県八郎潟)	
8月29日	火				
8月30日	水	アクションプラン準備 (1)		アクションプラン準備 (2)	
8月31日	木	貯蔵食品害虫について	水田農業試験場	圃場試験計画(2)	102教室
9月1日	金	庄内の育種の現況	水田農業試験場	普及活動と共同農業普及事業をめぐる情勢	庄内農業技術普及課
9月2日	土	農試参観デー	水田農業試験場		
9月3日	日				
9月4日	月	農業機械工場見学 (1)	山形県農業機械展示会 (中山町)	農業機械工場見学 (2)	山本製作所
9月5日	火	糸状菌による米の変質	5階リフレッシュルーム	イネ病害の視察	圃場
9月6日	水	営農からみたJAの役割について		JA鶴岡施設見学	JA鶴岡
9月7日	木	日本の灌漑	5階リフレッシュルーム	稲と水	5階リフレッシュルーム
9月8日	金	アクションプラン準備 (3)		国際協力理解授業(鶴岡市立朝暁第三小学校) 15:00~	
9月9日	土				
9月10日	日				
9月11日	月	問題点に関する討議(プレアクションプラン)(3)	5階リフレッシュルーム	問題点に関する討議(プレアクションプラン)(4)	5階リフレッシュルーム
9月12日	火	水分と品質測定(実習)(1)	1509実験室	適期収穫期などの重要性、適期判定法	5階リフレッシュルーム
9月13日	水	水分と品質測定(実習)(2)	1509実験室	収穫適期判定(実習)	高坂農場
9月14日	木	日本の稲作の農業機械化(1)	5階リフレッシュルーム	日本の稲作の農業機械化(2)	5階リフレッシュルーム
9月15日	金	アクションプラン準備 (4)		アフリカにおけるJICAの活動について	5階リフレッシュルーム
9月16日	土	わんぱく農業クラブ	高坂農場		
9月17日	日				
9月18日	月				
9月19日	火	Site Specific Nutrient Management (1)	102教室	Site Specific Nutrient Management (2)	102教室
9月20日	水	農業経営と稲作(1)	5階リフレッシュルーム	稲生理生態の基礎と栽培技術	5階リフレッシュルーム
9月21日	木	農業経営と稲作(2)	5階リフレッシュルーム	収量と収量構成要素	102教室
9月22日	金	小型機械を用いた水稻の収穫(実習)	高坂農場	アクションプラン準備 (5)	
9月23日	土				
9月24日	日				
9月25日	月	灌漑設備見学	月山ダム、頭首工	松ヶ岡農機具収納庫	
9月26日	火	アクションプラン準備 (6)		小型機械を用いた収穫調整(実習)	高坂農場
9月27日	水	農業機械工場見学(3)	マメトラ	農業機械工場見学(3)	石井製作所
9月28日	木	総合討論(アクションプラン)(1)	5階リフレッシュルーム	総合討論(アクションプラン)(2)	5階リフレッシュルーム
9月29日	金	最終報告審査会 (1)	203講義室	最終報告審査会 (2)、評価会議、送別会	203講義室

J I C A 仏 語 圏

月日	曜	午 前 (9:00~12:00)		午 後 (13:30~16:30)	
		内 容	場 所	内 容	場 所
8月14日	月	プログラムオリエンテーション			
8月15日	火	「日本社会と文化」「経済」「政治・行政」		「日本社会と文化」「経済」「政治・行政」	
8月16日	水	日本の農業における普及活動と農業協同組合の営農指導	JICA研修所		
8月17日	木	Project Cycle Management (1)	JICA研修所	Project Cycle Management (2) ※13:00~17:00	JICA研修所
8月18日	金	Project Cycle Management (3)	JICA研修所	Project Cycle Management (4) ※13:00~17:00	JICA研修所
8月19日	土				
8月20日	日				
8月21日	月	学部挨拶・大学案内・自己紹介・研修の趣旨説明・スケジュール説明・歓迎会	農学部1号館2階会議室	鶴岡市長表敬訪問 ※15:00	鶴岡市役所
8月22日	火	各国のポストハーベストの問題点の紹介 (1)	3階リフレッシュルーム	各国のポストハーベストの問題点の紹介 (2)	3階リフレッシュルーム
8月23日	水	問題点に関する討議(ブレアクションプラン) (1)	3階リフレッシュルーム	問題点に関する討議(ブレアクションプラン) (2)	3階リフレッシュルーム
8月24日	木	稲作のポストハーベスト(1)	3階リフレッシュルーム	圃場を中心とした稲作作業	3階リフレッシュルーム
8月25日	金	稲作のポストハーベスト(2)	3階リフレッシュルーム	圃場試験計画(1)	3階リフレッシュルーム
8月26日	土				
8月27日	日				
8月28日	月	大規模稲作見学(秋田県八郎潟)		大規模稲作見学(秋田県八郎潟)	
8月29日	火				
8月30日	水	アクションプラン準備 (1)		アクションプラン準備 (2)	
8月31日	木	圃場試験計画(2)	3階リフレッシュルーム	貯蔵食品害虫について	水田農業試験場
9月1日	金	普及活動と共同農業普及事業をめぐる情勢	庄内農業技術普及課	庄内の育種の現況	水田農業試験場(普及課)
9月2日	土	農試参観デー	水田農業試験場		
9月3日	日				
9月4日	月	農業機械工場見学(1)	山形県農業機械展示会(中山町)	農業機械工場見学(2)	山本製作所
9月5日	火	営農からみたJAの役割について		JA鶴岡施設見学	JA鶴岡
9月6日	水	糸状菌による米の変質	3階リフレッシュルーム	イネ病害の視察	圃場
9月7日	木	稲と水	3階リフレッシュルーム	日本の灌漑	3階リフレッシュルーム
9月8日	金	アクションプラン準備 (3)		国際協力理解授業(鶴岡市立朝暁第三小学校) 15:00~	
9月9日	土				
9月10日	日				
9月11日	月	問題点に関する討議(ブレアクションプラン)(3)	3階リフレッシュルーム	問題点に関する討議(ブレアクションプラン)(4)	3階リフレッシュルーム
9月12日	火	適期収穫期などの重要性、適期判定法	3階リフレッシュルーム	水分と品質測定(実習)(1)	1509実験室
9月13日	水	収穫適期判定(実習)	高坂農場	水分と品質測定(実習)(2)	1509実験室
9月14日	木	Site Specific Nutrient Management (1)	3階リフレッシュルーム	Site Specific Nutrient Management (2)	3階リフレッシュルーム
9月15日	金	アクションプラン準備 (4)		アフリカにおけるJICAの活動について	3階リフレッシュルーム
9月16日	土	わんぱく農業クラブ	高坂農場		
9月17日	日				
9月18日	月				
9月19日	火	日本の稲作の農業機械化(1)	3階リフレッシュルーム	日本の稲作の農業機械化(2)	3階リフレッシュルーム
9月20日	水	稲生理生態の基礎と栽培技術	3階リフレッシュルーム	農業経営と稲作(1)	3階リフレッシュルーム
9月21日	木	収量と収量構成要素	3階リフレッシュルーム	農業経営と稲作(2)	3階リフレッシュルーム
9月22日	金	アクションプラン準備 (5)		小型機械を用いた水稻の収穫(実習)	高坂農場
9月23日	土				
9月24日	日				
9月25日	月	灌漑設備見学	月山ダム、頭首工	松ヶ岡農機具収納庫	
9月26日	火	小型機械を用いた収穫調整(実習)	高坂農場	アクションプラン準備 (6)	
9月27日	水	農業機械工場見学(2)	マメトラ	農業機械工場見学(3)	石井製作所
9月28日	木	総合討議(アクションプラン)(1)	3階リフレッシュルーム	総合討議(アクションプラン)(2)	3階リフレッシュルーム
9月29日	金	最終報告審査会 (1)	203講義室	最終報告審査会 (2)、評価会議、送別会	203講義室

平成29年8月3日  
山形大学

## 「防災と技術」テーマに国際交流実践講座“蔵王でミニワールド体験”を実施

本プログラムは、山形大学が海外拠点を設置している大学から、外国人学生を招聘し、山形大学の学生と蔵王山寮で寝食を共にすることで、相互の異文化理解、国際感覚やグローバル意識の向上を図るものとなっています。

外国人学生は、中国・ベトナム・インドネシア・ラトビア・ケニア・ペルーの6ヶ国から来日します。

### ◆概要

このプログラムは、各国の事情、文化、習慣等の違いについて相互理解を深め、国際感覚を養い、様々な交流活動を通してコミュニケーション能力等の向上を図ることを目的に、平成24年度から実施しているもので、今年で6回目となります。

今年は「防災と技術」と題し、科学技術がどのように復興や対策に関わっているのか、外国人学生と共に学び、意見交換を行います。

### ◆プログラム内容

期 間：平成29年8月22日（火）～8月31日（木）

参加者：外国人学生12名（男性5名、女性7名）  
山形大学生12名（男性3名、女性9名）  
合 計24名（男性8名、女性16名）

予 定：8月22日（火）外国人学生渡日  
8月23日（水）開講式、オリエンテーション、各国の紹介【蔵王山寮宿泊】  
8月24日（木）講義、各国の防災紹介、ディスカッション【蔵王山寮宿泊】  
8月25日（金）講義、日本語学習、ホームステイ事前学習【蔵王山寮宿泊】  
8月26日（土）ホームステイ（外国人学生のみ）  
8月27日（日）ホームステイ（外国人学生のみ）  
8月28日（月）山形地方气象台訪問、山形県庁訪問、講義  
8月29日（火）山形放送訪問、ディスカッションと発表  
8月30日（水）閉講式、送別会  
8月31日（木）外国人学生帰国

※この活動は、国立研究開発法人科学技術振興機構の平成29年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）の支援を受けて実施しています。

（お問い合わせ先）  
山形大学教育・学生支援部  
国際交流課 三浦  
電話 023-628-4017

平成29年8月3日  
山形大学

## オペラ指揮者の阪哲朗氏による学生の公開レッスンをを行います

山形交響楽団と本学の連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会の招聘音楽家を本学に招き、公開講座を行います。第二回目は、オペラ指揮者として活躍する阪哲朗氏による、地域教育文化学部音楽芸術コースおよび文化創生コースの学生への公開レッスンをを行います。

ヨーロッパの歌劇場で活躍中である、オペラに深く精通する、阪哲朗氏によるレクチャーをはさみながらの公開レッスンとなります。

- 日時 平成29年9月1日（金） 18:30開演
- 会場 山形大学文化ホール（小白川キャンパス）
- 入場料 無料
- プログラム

モーツァルト 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」より

### 1. 13番 「麗しのデスピネッタ」

#### All bella Despinetta

フィオルディリージ	3年	伊藤 有里
ドラベッラ	4年	蘇武 絢子
デスピーーナ	4年	大江 桃子
フェルランド	4年	佐藤 匠悟
ドン アルフォンソ	2年	野本 泰雅
グリエルモ	2年	土田 拓志
ピアニスト	4年	甲地 香央里

### 2. 20番 二重唱「私はあの髪の褐色のほうをとるわ」

#### Prenderò quel brunettino,

フィオルディリージ	3年	伊藤 有里
ドラベッラ	4年	蘇武 絢子
ピアニスト	3年	加納 実紗

### 3. 29番 二重唱「もうすぐ私の誠実な婚約者の胸にいだかれるわ」

#### Fra gli amplessi

フィオルディリージ	4年	大江 桃子
フェルランド	4年	佐藤 匠悟
ピアニスト	4年	長南 敦也

（お問合せ先）

学術研究院 准教授

渡辺修身（地域教育文化学部担当）

電話 023-628-4336

平成29年8月3日  
山形大学

## 山形大学・福島大学 合同展覧会「ROUTE13展」を開催します

地域教育文化学部の造形芸術コース・文化創生コースの学生が福島大学との合同美術作品展覧会「ROUTE13展」を開催します。

「ROUTE13展」は、国道13号線で繋がる国立大学の美術を専攻する学生による合同展覧会として始まり、今年で24年目の開催となります。

今年は山形大学と福島大学の1年生から4年生までの作品を展示予定です。

日時：平成29年9月7日(木)～9月10日(日)10:00～16:00  
(※最終日10日の展示は12時30分まで)

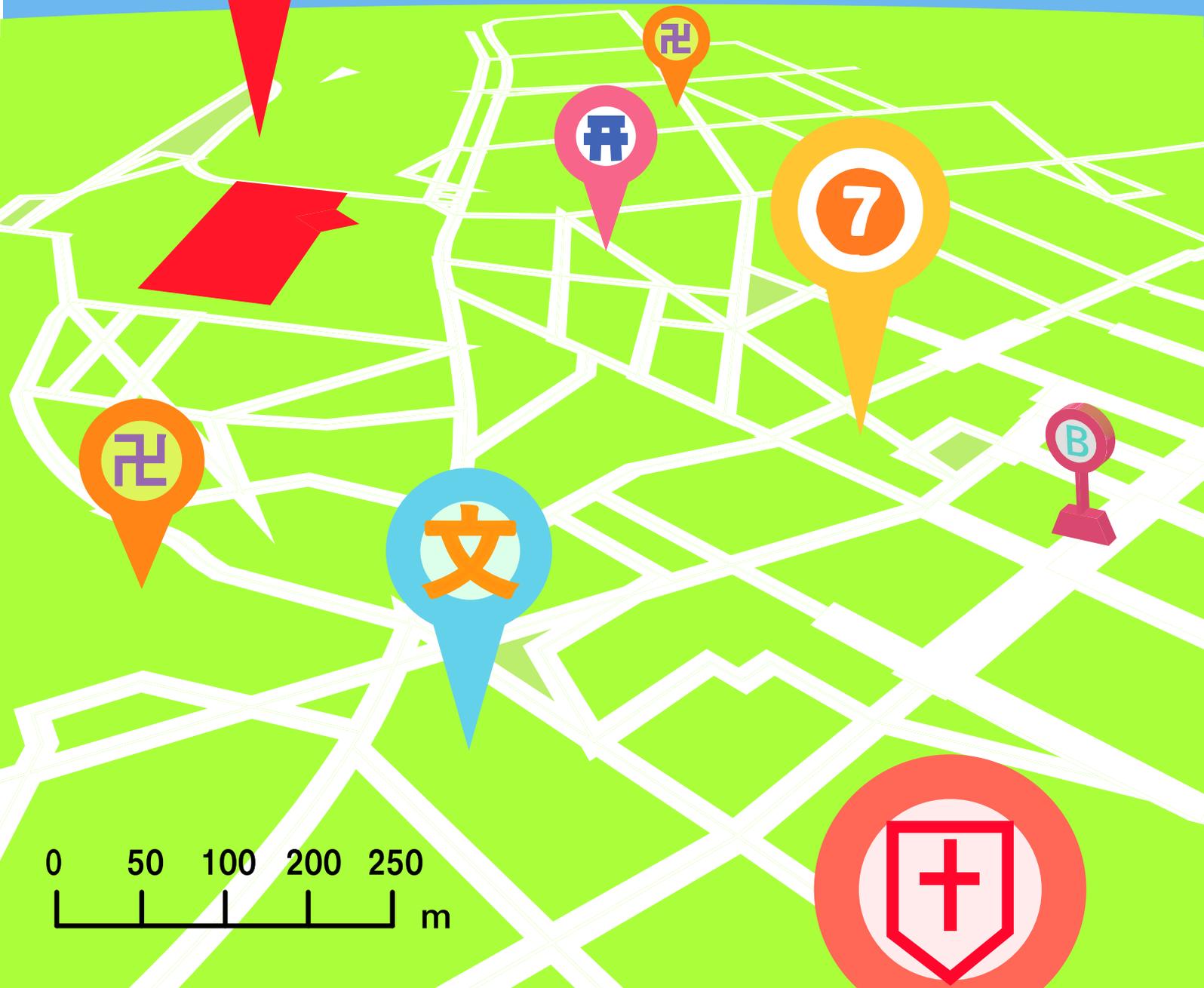
会場：福島県文化センター 3階 展示室

(お問合せ先)  
地域教育文化学部事務室  
電話 023-628-4304

山形大学 × 福島大学 合同展覧会

# ROUTE 13

2017.9.7(TUE) - 9.10(SUN)  
10:00 - 18:00 (最終日は ~12:30)  
福島県文化センター三階展示室にて



平成29年8月3日  
山形大学

## 人文社会科学部公開講座のご案内

人文社会科学部では、9月21日（火）より5回にわたって公開講座を開講します。本講座では、「自由貿易」という広いテーマを設定し、法学、経済学、経営学の視点からアプローチし、自由貿易の「真意」を理解する手がかりを与え、どの様に自由貿易時代を生き抜くかを考えるきっかけを与えることができるよう、考えていきます。

### 1. テーマ

「自由貿易と海外進出—法律・経済・経営の視点から—」

### 2. 会場

山形大学人文社会科学部1号館2階205講義室

### 3. プログラム（9月21日～10月19日、いずれも18：30～20：10）

9月21日（木）「なぜ地域貿易協定なのか？—余剰分析からの視点—」

講師：亀井 慶太 氏（学術研究院講師）

9月28日（木）「経済グローバル化の国際ルール—WTOからTPPへ—」

講師：川瀬 剛志 氏（上智大学法学部教授）

10月 5日（木）「中小企業における海外展開戦略の新段階」

講師：吉原 元子 氏（学術研究院准教授）

10月12日（木）「自由貿易はGDPにどのような影響を与えるか？—マクロ経済学の視点から考える—」

講師：溜川 健一氏（学術研究院准教授）

10月19日（木）「地球温暖化対策と自由貿易—産業保護政策になっているのか—」

講師：杉野 誠 氏（学術研究院准教授）

### 4. 対象／定員

一般市民・大学生・高校生／定員30名

### 5. 受講料

一般 2,000円 ※大学生・高校生は無料

### 6. 募集期間

平成29年8月21日（月）～9月15日（金）

（お問合せ先）

人文社会科学部事務室 芳賀  
電話023-628-4203

平成28年8月3日  
山形大学

## 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

### 「山形の記憶2 山形大学附属博物館所蔵絵葉書展」を開催しています

7月22日(土)より最上義光歴史館において「山形の記憶2 山形大学附属博物館所蔵絵葉書展」を開催しています。本展では、附属博物館が長年収集してきた戦前から昭和初期の山形県内を題材にした様々な絵葉書約80点を展示しています。企画・展示は、学内で学芸員資格取得を目指す学生たちが行いました。

絵葉書として記録された大正～昭和の山形市内の様子と現在の姿を比較するコーナー『山形市の今昔』やもんぺ美人に着目した『山形もんぺガールズコレクション』、絵葉書を包むパッケージを紹介する『隠れた芸術！パッケージの魅力に迫る』など、創意工夫溢れる賑やかな展示となっています。

#### 【実施概要】

会 期：平成29年7月22日（土）～9月10日（日）

会 場：最上義光歴史館

開館時間：9：00～17：00（入館受付は16：30）

休 館 日：毎週月曜日（ただし、8月7日・14日は臨時開館）

入 館 料：無料

#### （お問合せ先）

山形大学附属博物館

電話 023-628-4930

E-mail: [hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

# 山形の記憶 2

山形大学附属博物館所蔵絵葉書展

平成29年7月22日(土)

9月10日(日)



【開館時間】 9:00~17:00 [入館受付は16:30]

【休館日】 毎週月曜日 *ただし、8月7日・14日は臨時開館*

【入館料】 無料

【会場】 最上義光歴史館

〒990-0046 山形市大手町1-53 (JR山形駅下車 徒歩15分)  
TEL.023-625-7101 / FAX.023-625-7102 <http://mogamiyoshiaki.jp>

■主催／山形大学附属博物館、公益財団法人山形市文化振興事業団(最上義光歴史館)

■共催／山形市

■お問い合わせ／山形大学附属博物館 受付時間／平日9:30~17:00

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12 TEL.023-628-4930(直通) FAX.023-628-4668

E-mail :hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>

デザイン原案：岡理樹・金田都里（山形大学人文社会科学部3年）、高橋杏奈・横倉ゆうか（山形大学地域教育文化学部3年）

## ギャラリートーク

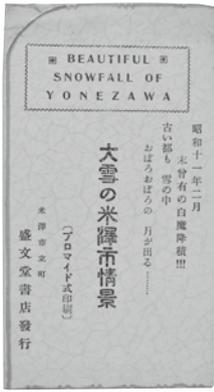
- ・日時 7月28日(金) 14:45~
- ・内容 山形大学の学生による資料解説
- ・会場 最上義光歴史館展示室内  
※聴講無料／事前予約不要



山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

# 山形の記憶2

山形大学附属博物館所蔵絵葉書展



山形大学において学芸員資格取得を目指す学生たちが、山形大学附属博物館が長年収集し保管してきた貴重な資料の新たな魅力を引き出すことを試みる展示です。本年度で4度目の開催です。

今回は古い絵葉書を取り上げることにしました。明治維新を経て日本に郵便制度が確立し、1900年に私製葉書の使用が認められるようになると、大絵葉書ブームがおこりました。美しい風景はもちろんのこと地方独自の風俗や災害など、今では考えられないような、ありとあらゆることが絵葉書の題材になりました。絵葉書はインターネットを介して日常的に画像やイラストのやりとりを行う今のコミュニケーションの源流ともいえるでしょう。

当時の人たちが何に関心を寄せ、他の人たちと共有したいと思っていたのかを絵葉書によってたどりながら、山形の歴史と文化に想いを馳せる機会となれば幸いです。

山形大学附属博物館

## 周辺MAP



最上義光歴史館

山形大学附属博物館

山形市大手町1-53  
tel.023-625-7101

山形市小白川町1-4-12  
tel.023-628-4930

山形大学附属博物館特別展のお知らせ

## 特別展 「山形大学附属博物館ものがたり ～収蔵品が語る90年のエピソード～」

山形大学附属博物館は山形県師範学校時代の郷土室にそのルーツがあります。以来いまに伝えられた博物館の収蔵品を紹介しながら、近代教育が始まった明治時代にまで遡る山形大学の歴史を振り返る展覧会です。

- 【会 期】 平成29年6月12日(月)～8月18日(金)
- 【開館時間】 9:30～17:00
- 【休 館 日】 土曜、日曜、祝日(ただし、8月11日(金・祝)はオープンキャンパスのため開館日)  
8月14日(月)～16日(水)
- 【会 場】 山形大学附属博物館
- 【入 館 料】 無料



# 第2回ドライフーズ レシピコンテスト 2017開催

館山りんごスイーツ編

山形大学の“常温乾燥技術”を用いて乾燥したものを食材としたレシピコンテストを開催します！  
第2回目は、米沢の特産品「館山りんごスイーツ」。  
新たな食材として加工した、乾燥館山りんごスイーツの楽しいアイデアをお待ちしております！

優勝 **10万円**  
準優勝 **5万円** 第3位 **3万円**

参加賞

試食審査参加者で  
受賞以外の方

※賞金は、1グループに対しての金額です。

レシピ募集期間 ▶▶▶ 2017年7月10日(月) ~ 10月9日(月)



## 募集要項

- 応募条件 / 乾燥した館山りんごを使ったスイーツのレシピを応募してください。  
書類審査を通過した方は、レシピコンテストの当日、そのレシピで実際に調理していただきます。  
応募作品の使用権、その他Webでの公開に要する権利は主催者に帰属します。
- 応募対象 / 一般（個人およびグループでの参加可）
- 応募方法 / ①ホームページの場合 / 下記URLへアクセスし、必要事項を記入し申込フォームよりご応募ください。  
[http://vegea.jp/recipe2017\\_form/](http://vegea.jp/recipe2017_form/) ※イメージ図はJPEGのデータを添付してください。  
②郵送の場合 / 裏面の応募用紙へ必要事項を記入し、下記あて先まで郵送にてご応募ください。※コピーしてご利用ください。  
〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学米沢キャンパス 事務部 研究支援担当「ドライフーズレシピコンテスト」係 宛て
- 応募メ切 / 2017年10月9日(月)必着
- 書類審査基準 / 食材の活用、アイデアの斬新性
- 試食審査基準 / 食材の活用、アイデアの斬新性、見た目の美しさ、美味しさ
- 通過決定通知 / 書類審査通過の方のみ、10月下旬頃郵送にてお知らせします。コンテスト開催の詳しい内容と、試作用の乾燥館山りんごも併せて同封いたします。※書類選考にもれた方への通知はいたしませんので予めご了承ください。

## 事業説明会 開催

日時 / 2017年7月14日(金) 12:10~12:40  
会場 / 山形県立米沢栄養大学 D棟3階 D301教室  
内容 / レシピコンテストについての詳細を説明します  
※説明会に参加できない場合でも、電話やメールにて対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

## レシピコンテストについて

- 開催日時 / 2017年11月25日(土) 13:00~17:15
  - 会場 / 山形県立米沢栄養大学 D棟1階 調理実習室  
〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1  
TEL / 0238-22-7330
- 
- 参加対象 / 書類審査通過の個人またはグループ  
※応募いただいた作品の中から参加者を選考、参加通知をもって受付とさせていただきます。
  - 審査方法 / 応募したレシピで実際に調理していただきます。その場で審査員が食後、審査の上順位を決定します。  
※調理時間 3時間
  - 問い合わせ / 山形大学米沢キャンパス 事務部 研究支援担当  
TEL 0238-26-3004 / FAX 0238-26-3401  
E-mail koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 第2回 ドライフーズレシピコンテスト2017 ~館山りんごスイーツ編~

## 応募用紙

※応募作品が複数ある場合は、1作品ごとに1応募用紙にご記入ください。

グループ名 (または個人名)				(人数 名)
代表者ご住所 (通知送付先)	〒	-	フリガナ	
			代表者ご氏名	
代表者ご連絡先	自宅・携帯・その他( ) TEL ( )			
E-mail				

作品タイトル			
レシピ詳細	材 料	分量 ( 人分)	作 り 方
●食材の活かし方	●イメージ図(イラスト)		
●工夫した点などPRポイント			

### 注意事項

※上記応募用紙に必要事項を記入の上、事務局まで郵送でお送りください。※応募用紙一式は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。※ご記入いただいた個人情報は、採用選考、結果の通知・ご連絡の目的のみで利用させていただきます。ただし、受賞発表時は、グループ名及び氏名を公表させていただきます。

### 事務局記入欄

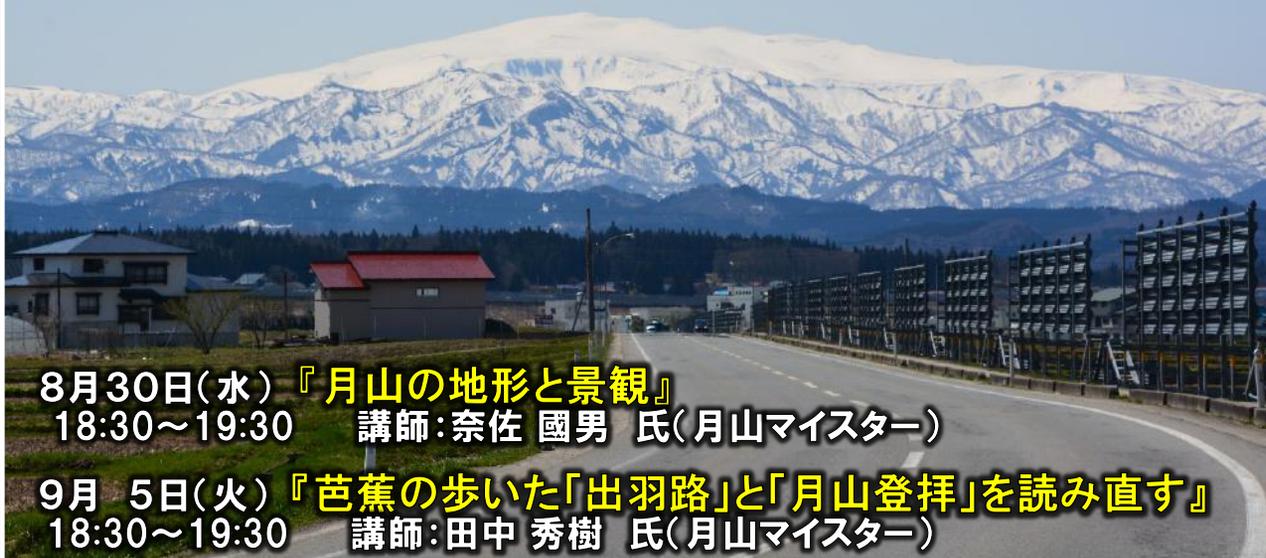
受付日	月	日	番号	
-----	---	---	----	--

送付先情報 / 〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学米沢キャンパス 事務局 研究支援担当「ドライフーズレシピコンテスト」係 宛て

# やまがた夜話

テーマ「月山に学び、地域を知るⅢ」

「月山」をキーワードにそれぞれの分野で活動をし、互いに学びあいながら「月山の魅力」を発信してきた月山マイスター。地形・景観、文学、植生、防災、歴史・民俗などを横断的に学ぶことで、新たな視点の発見で住み慣れた地域を見直すことも可能となるのではないのでしょうか。



8月30日(水) 『月山の地形と景観』  
18:30~19:30 講師: 奈佐 國男 氏(月山マイスター)

9月 5日(火) 『芭蕉の歩いた「出羽路」と「月山登拝」を読み直す』  
18:30~19:30 講師: 田中 秀樹 氏(月山マイスター)

9月13日(水) 『2つの日本遺産を育んできた大地・月山』  
18:30~19:30 講師: 高野 昌二 氏(月山マイスター)

9月20日(水) 『出羽三山八方七口』  
18:30~19:30 講師: 児玉 勝義 氏(月山マイスター)

9月27日(水) 『月山周辺の防災』  
18:30~19:30 講師: 大類 正法 氏(月山マイスター)

(写真: 新庄から本合海へ  
田中秀樹さん 撮影)

会場 ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax, 郵送、メール等でお  
申し込みください。

**入場無料** 定員: 50名



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820  
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

## 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

### やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。
	<input type="checkbox"/> 平成29年 8月 30日(水) 講師: 奈佐 國男 氏
	<input type="checkbox"/> 平成29年 9月 5日(火) 講師: 田中 秀樹 氏
	<input type="checkbox"/> 平成29年 9月 13日(水) 講師: 高野 昌二 氏
	<input type="checkbox"/> 平成29年 9月 20日(水) 講師: 児玉 勝義 氏
<input type="checkbox"/> 平成29年 9月 27日(水) 講師: 大類 正法 氏	
住 所	〒
氏 名	
連絡先	TEL
	E-mail
所 属	※月山マイスターの方は、この欄に月山MSとお書きください。

・受講申込者が定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

#### 【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp